

革新的
サービス

一般型

設備投資

事業計画名

立体物等に対する革新的印刷により、お客様同士のコミュニケーションを広げる・深まる素材の開発・企画

立体物への印刷でさまざまな企画開発を行う 革新的な印刷サービスで顧客のニーズに対応

概要

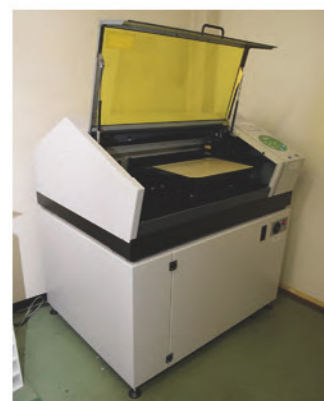
LED-UVインクジェットプリンターを活用して立体物への印刷を行う。単なる情報伝達の機能を越え、使用する客同士でコミュニケーションを深める印刷物の企画開発に取り組む。

本事業への取り組みの経緯

昨今、コンピュータやスマートフォンの進化、インターネットの普及により、コミュニケーションや情報伝達手段は多様化している。印刷会社としても、従来の紙媒体に縛られるのではなく、それらの技術革新や環境変化に対応していくことが不可欠である。

当社では、従来型の印刷事業に縛られず、自社独自のコンテンツや広告メディアの企画・開発に取り組んできた。飛騨高山のゆるキャラ「ひだっち」がその体表的なコンテンツである。「ひだっち」をプロデュースするとともに、広告メディアとして「ひだっち」をナビゲーターとした観光客向けフリーペーパー「ひだっちマガジン」も発行している。

印刷会社として培ってきた企画力やデザイン力、「ひだっち」などのコンテンツを活かし、さらに新たなサービスを展開できないかという思いから、本事業に取り組んだ。



立体物への印刷が可能な「LED-UVインクジェットプリンター」を導入

事業概要

LED-UVインクジェットプリンター、三次曲面昇華転写システムを導入するとともに、紙（平面）への印刷で蓄えてきた当社の企画力、デザイン力を活用することで、オリジナル性・企画性の高い立体物への革新的な印刷サービスの開発に取り組んだ。

「ひだっち」などの自社コンテンツを用いた新たなデザインを製作するとともに、マグカップやスマートフォンケースなど立体物への印刷に取り組んだ。

また、顧客同士のコミュニケーションツールとしての活用を期待し、顧客の写真や顧客がデザインしたイラストなどを簡単に入れられるサービスを開発した。



マグネットなどの立体物への印刷も簡単にできる



LED-UVインクジェットプリンターを使って完成した「ひだっち」入りのマグネット

【印刷・同業連業】 山都印刷株式会社

〒506-0031 高山市西之一色町2-90-8

TEL.0577-32-1495 FAX.0577-35-1127

設立/昭和34年12月8日 資本金/1,020万円 従業員数/30人

http://www.santo-printing.co.jp/index.html e-mail/santo@poplar.ocn.ne.jp



代表取締役社長 平 和民

企業概要

飛騨地域ナンバー1の印刷会社を目指し、最新技術を駆使した設備力を誇る。顧客の希望に応じて、DTPデータ、パソコンによる文字データから手書きによる原稿の入力まで、あらゆる入稿形態、メディアに対応する。紙媒体だけでなく、各種マルチメディアの企画制作も手掛ける。

事業成果

立体印刷物の企画、デザイン、製造、提供を自社で一貫して行えるようになった。従来は、アイデアがあっても、製造を外注に出すには、ロットが小さく製品化に至らない企画やデザインが多くあった。

LED-UVインクジェットプリンター、三次曲面昇華転写システムを導入したことで、製造を外注する必要がなくなった。自社で一貫して手掛けられることで、商品が完成するまでの時間も短縮でき、アイデアをスピーディーに製品化できるようになった。

顧客の写真やイラスト、作家やクリエイターが製作したコンテンツなどもスピーディーに商品化することが可能となり、顧客同士や地域のコミュニケーションを活性化するためのサービス実現が可能となった。

事業の活用状況

補助事業終了後、印刷デザインの増加や印刷できる商品アイテムの種類を増加させ、商品提案の幅を広げている。

飛騨地域の魅力である木を活かした商品提案にも力を入れている。ノベルティとしてのオリジナルのものさしや地元スポーツ大会向けの木製メダルなども製作した。

立体物への印刷サービスを提案する中で、オリジナルキャラクターを作ってほしいといった依頼も増加するようになり、コンテンツと立体物への印刷サービスの相乗効果が生まれつつある。

従業員にとっても、さまざまな商品を手掛けるための企画やアイデアを考える機会が増え、社内

のコミュニケーション促進および組織の活性化にもつながってきている。

印刷業は紙離れが進んでいるが、「ひだっち」という自社のオリジナルコンテンツを活かしながら、さまざまな顧客ニーズに対応できるようにしたい。今後は、顧客が自ら写真やイラストを入稿できる受注サイトを設けたり、ペット業界、子ども向けのオリジナル商品の展開を行っていく。オリジナル商品を企画から提供まで一貫して手掛けられることを売りにしていく。



マグカップなどさまざまな立体物への印刷が可能になった



飛騨地域の魅力である木を活かした商品提案

平成二十五年
度
補正
予算
事業